

# ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2014年1月15日

## 仙台・東長町児童館 「カレンダーづくり」

今回は、なぜか男の子の確率が高かったのです。ゆえに、可愛い作品というよりは、ファンキーで力強い、個性的なカレンダーが揃った感じ。

資料として、自分が描きためた自由帳を持ち込む子もいて、やる気満々です。

今、男の子あいだでは、恐竜がはやっているのでしょうか？ この児童館でも「恐竜に夢中！」がありありとわかる作品が必ずありますね。

そして、カレンダーが二次元的ものである。という、大人の考えは、もはや覆されたといっても過言ではない作品たちでいっぱいです。

モールや、シールを貼ったものなどは序の口。今回は、石をくっつける。綿をくっつける。ボタンもくっつける。と、カレンダーもかなり重量化しているものも多数見受けられました。

最初は馬だったはずが、モコモコの綿をまとして、最後には「アルパカだあ」と本人もつぶやく作品も。

女の子たちは、レースやリボンやポンポンをくっつけたりと、楽しげな作品が揃いました。

夢中になっているうちに帰らなくてはならぬ時刻になる子もいて、「もうちょっと」の声。やっぱり、なにかをつくっている時間は、最高楽しいんですよ。

